

荒神川都市基盤河川改修事業の事業計画(今回分+今後)

都市安全部 公園河川課

1 事業目的

荒神川は本川である武庫川の河川改修に合わせて荒神川の河床を掘り下げ、荒神川の流下能力の向上を図ります。また、大堀川に流入している荒神川流域の雨水の一部を荒神川に流入させることにより、大堀川沿いの浸水被害が大きい鶴の荘・向月町地域の浸水被害の軽減を図ります。加えて国道176号より下流については市民が水辺と親しめる河川空間として、親水性を考慮した河川整備を行います。

2 総事業費

40億円(国1/3、県1/3、市1/3)

3 認可期間

平成8年度～令和4年度(予定)

4 補正理由

令和3年3月に国の補正予算(国土強靱化対策)を確保したことによる事業費当初予算の減額対応

【歳入】

(単位:千円)

予算費目	現計予算額	補正額	補正後予算額	説明
17国02国07土02河	29,578	-29,578	0	防災安全交付金 -88,734千円×1/3=-29,578千円
18県02県07土02河	29,578	-29,578	0	都市基盤河川改修費補助金 -88,734千円×1/3=-29,578千円
24市01市06土02河	26,600	-26,600	0	河川整備事業債 -88,734千円×1/3×90%=-26,600千円
計	85,756	-85,756	0	

【歳出】

予算費目	現計予算額	補正額	補正後予算額	説明
08土03河03河15工	90,734	-88,734	2,000	河川改修工事費 事業費 -88,734千円
計	90,734	-88,734	2,000	

5 事業計画(今回分+今後)

計画平面図は裏面に示すとおり。昨年度は新荒神橋の上流46mの河川改修を実施。今年度は新荒神橋から安場橋までの87mの工事を予定。

今後、安場橋直下の詳細設計および安場橋から荒神橋までの基本設計の実施等を経済的な工法検討に基づき取り組む。

荒神川・都市基盤河川改修事業 計画平面図

令和3年 5月末現在

